

資料提供（投げ込み） 平成30年6月21日（木）	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所属	職・氏名
危機管理部 防災室 （電話059-229-3104）	防災室長 出口 真也

大阪府北部を震源とする地震による本市の被害状況等について （6月21日8時30分現在）

大阪府北部を震源とする地震による平成30年6月21日8時30分現在の本市の被害状況等は次のとおりです。

記

- 1 地震の概要
 - (1) 発生日時
平成30年6月18日（月）7時58分 地震発生
 - (2) 震源地
大阪府北部
 - (3) 震源の深さ
約13キロメートル
 - (4) 規模
マグニチュード6.1
 - (5) 津波
心配なし
- 2 避難所開設状況
なし
- 3 被害概況
 - (1) 人的・住家被害 なし
 - (2) 公共土木施設被害 なし
 - (3) 農林水産関係被害 なし
 - (4) 水道関係被害（上水道・下水道） なし
- 4 通行規制状況
なし
- 5 大阪府高槻市立寿栄小学校におけるプール横のコンクリートブロック塀倒壊を踏まえた各部の対応
 - (1) 教育委員会
 - ア 小中学校等のコンクリートブロック塀設置状況調査
平成30年6月18日から学校施設における同様の構造物の有無を調査中です。
 - イ 調査対象施設
99か所（内訳 小学校48校、中学校19校、幼稚園31園、義務教育学校1校）
 - ウ 調査方法
まず、プールを囲む壁を調査することとして、航空写真等よりプールの配置状況及び壁の構造を確認し、壁の構造を確認できない30施設（内訳 小学校19校、中学校10校、幼稚園1園）について、現地において確認しました。

次に、公共建築物定期調査業務報告書（平成28年度・財産管理課）の調査結果から、塀に関して要是正の指摘を受けた小学校等の有無を確認しました。

エ 調査結果

調査を行った30施設のうち、18施設にプールの周囲にコンクリートブロック塀が設置されていることが判明し、要是正の指摘を受けたコンクリートブロック塀も含め、塀の高さ、クラック、傾き、控壁の有無及び間隔等を引き続き調査中です。

(2) 健康福祉部

ア 保育所及び認定こども園のコンクリートブロック塀設置状況調査

平成30年6月19日から調査中です。

イ 調査対象施設

25か所（内訳 公立保育所22か所、公立幼保連携型認定こども園3園）

ウ 調査方法

まず、各保育所及び認定こども園の園長等が実測し、確認したものを集計しました。

次に、公共建築物定期調査業務報告書（平成28年度・財産管理課）の調査結果から、塀に関して要是正の指摘を受けた保育所の有無を確認しました。

エ 調査結果

調査を行った25施設のうち、18施設でコンクリートブロック塀が設置されていることが判明し、要是正の指摘を受けたコンクリートブロック塀も含め、塀の高さ、クラック、傾き、控壁の有無及び間隔等を引き続き調査中です。

(3) 政策財務部

平成30年6月19日に公共施設に設置されているコンクリートブロック塀等について、法令に定められた基準に基づき再確認を行うとともに、構造物の状態を点検するよう全課に通知しました。

また、平成28年度に実施した公共建築物定期調査業務報告書（平成28年度・財産管理課）の調査結果から、対応が必要と想定される施設の洗い出しを実施し、各施設の状況等を引き続き調査中です。

(4) 危機管理部・都市計画部

危機管理部では、平成30年6月19日開催の津市自主防災協議会役員会において、防災室から各支部会長に対してタウンウォッチング等を行う際に、コンクリートブロック塀等の危険箇所があった場合は情報提供していただくよう、口頭で依頼しました。

また、平成30年7月13日に開催予定の津市自主防災協議会総会において、改めて各支部にコンクリートブロック塀等の危険箇所の情報提供を依頼して、危険箇所の把握に努めます（建築基準法の資料などを添付した文書で依頼予定。）。

都市計画部では、地震発生後、市民から8件の相談があり、建築指導課が現地確認を行い、所有者等に助言・指導を行っています。

また、危機管理部が収集した情報や各自治会からの相談通報による危険箇所の把握に努め、所有者等に助言・指導を行います。

市の施設については、各施設管理者の調査結果により、危険なコンクリートブロック塀は、是正を指導します。

さらに、両部で連携して、広報津などの媒体を通じて、市民に耐震化のための啓発に努めます。